



府中地区保護司会だより

第55号

発行 府中地区保護司会 会長 朝倉俊夫



2023年 新庁舎「おもや」完成

2026年「はなれ」完成予定



旧府中町役場



Fuchu 70th Anniversary

歴史が息づく。
未来が芽吹く。

昭和29年(1954)4月、府中町・多磨村・西府村の1町2村が合併して府中市が誕生。本年、市制施行70周年を迎えた。武蔵国の国府が置かれ、古くから政治や経済、文化の中心地として栄え、将来も住み続けたい街として発展している。

また、防犯体制の整備をはじめ、皆様と協働で行っております「社会を明るくする運動」など、関係機関と連携をとりながら、市民が安心して暮らせるまちづくり、そして、市制施行100周年を見据えたまちづくりに全力をあげて取り組んでまいり所存でございますので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、府中地区保護司会のますますのご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申しあげまして、ご挨拶いたします。

希望の未来を育てていくため、本市におきまして、令和3年度より府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画において、府中市再犯防止推進計画を重点施策として位置付けております。

また、防犯体制の整備をはじめ、皆様と協働で行っております「社会を明るくする運動」など、関係機関と連携をとりながら、市民が安心して暮らせるまちづくり、そして、市制施行100周年を見据えたまちづくりに全力をあげて取り組んでまいり所存でございますので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

昨今、出所者の再犯が社会問題となっており、諸課題と向き合い、長い間、本市の歴史を支えてこられた保護司の皆様への更生保護活動の取組につきましては、改めて深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。



府中市長
高野 律雄

歴史が息づく。未来が芽吹く。



ご挨拶

府中警察署
署長 高野 真弘

令和5年8月28日付で、府中警察署長に着任しました高野です。よろしくお願いいたします。着任後、府中の歴史と伝統に触れるとともに、地元を愛し、地元のために活動される皆さまの溢れる活気を感じ、本当にいい街だなと感じているところです。

保護司の皆さまにおかれましては、警察業務に対して、平素から深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。また、更生保護活動を通じて、街の安心・安全にご尽力頂いておりますことに深く感謝を申し上げます。

さて、昨年の都内の少年非行等の概況についてですが、平成22年から減少傾向にあった非行少年が増加に転じており、4,312人（前年比+274人）となっています。特に、薬物事犯が231人（前年比+87人）と大きく増加しています。

一方、特殊詐欺の検挙人員は、100人（前年比-53人）と減少し

ているものの、再犯率率が59%と非常に高く、一度でも加担してしまうと犯罪組織との関係をなかなか断ち切れない状況があります。

そこで、府中警察署では、危機感を持って、生徒たちに当事者意識を持たせる薬物乱用教室を実施しているほか、「#BAN闇バイト」のキャッチコピーの下、若年層に対して特殊詐欺に加担しないための広報啓発活動を実施しているところです。

今後も「安全で安心して過ごせる街府中」の実現に向けて、各種非行防止活動や犯罪検挙活動を推進してまいりますので、保護司の皆さまにおかれましては、引き続き明るい社会実現のため、社会復帰を目指す者たちを善導していただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、府中地区保護司会の益々のご隆盛と会員の皆さまの益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

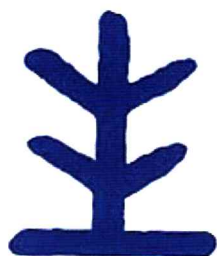
東京保護観察所立川支部
保護観察官 齋藤 潤二

犯罪や非行を犯した人たちの立ち直りのために、日夜尽力されている皆様のご努力とご苦労に対し、心から敬意と謝意を表します。また、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、平時の体制に戻り、あらためて、日々の処遇を行っていたいておりますことに厚く感謝を申し上げます。一方で、

報を共有し、一人ひとりに応じた具体的な支援の実現に向けた連携・協議を行う更生保護ネットワーク事業の実現に向け、関係者と議論を重ね、進めて行きたいと考えています。何かと不行き届きもあろうかと存じますが、皆様としつかり協同しながら歩んでいきたいと思っています。

平成15年以降一貫して減少してきた全国の刑法認知件数は令和4年以降、2年連続で増加しており、人流が戻ったことによる影響から、今後が懸念されるそうです。令和5年12月から地域援助等という新たな活動も加わり、更生保護事業関係者には、再犯防止に向けて「息の長い支援」をいっそう拡充していくことが求められます。また、犯罪者や非行少年を地域で受け入れ、立ち直りを支援する方向に地域社会の意識を高めていく、犯罪予防活動の充実も課題となっています。対象者の社会復帰支援を一層円滑に進めるため、地域関係機関、団体等の協力を得て支援に関わる情

更生保護が地域の皆様に支えられて成り立っていることに、改めて思いを致し、保護司をはじめ、更生保護関係者や関係団体等の皆様に対し、誠意と感謝の心を持って業務に取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いします。皆様のご多幸、ご健勝を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



人はみな、
生かされて
生きてゆく

令和6年定期総会

総務部 北村のぞみ

5月17日(金)午後4時よりルミエール府中に於いて、土公千鶴東京保護観察所立川支部長・齋藤潤二保護観察官を来賓にお迎えし、出席会員41名、委任状11名を以て開催しました。議長選出後、本年度議事の第1号議案から第5議案まで慎重審議し、原案どおりすべて承認されました。次にサポートセンターふちゅうの移転に伴いサポートセンター運営規定の一部改定の報告があり、名称は更生保護サポートセンターふちゅうとなり利便性も向上し、府中地区保護司会の活動が益々活発に遂行されることと思います。

議長解任後、役員及び市担当職員の紹介を経て、定期総会は閉会となりました。尚、今年度から議案書の様式が刷新されました。

定期総会終了後、高野府中市長はじめ大勢のご来賓の皆様にご出席いただき、5年ぶりに懇親会が開催され、久々の歓談で賑やかな会となり大いに盛り上がりま



新任保護司

令和6年2月1日付



しだら 文子
設楽

令和6年2月1日の朝、辞令伝達式に向かう電車の中「保護司という大役が私に務まるのだろうか。私に何ができるのだろうか」という思いでした。辞令を受け、新任研修を受講、そして府中地区の先輩方とお顔を合わせる機会が重なる中で、たくさんさんの優しい言葉に励まされました。皆様に助けていただきながら精いっぱい努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



にいしま 香
新島

新任の新島香です。これまで各所で保護司の方々と接し、大役を担われて、感嘆の眼差しでおりました。自身がその役を担うこととなり、お役に立てるだろうかと半信半疑ですが、経験豊富な諸先輩からご教授いただきながら、すべき役割を精一杯努めて参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



まなべ 美一
真鍋

2月より保護司に就任しました真鍋です。とても責任のある役を引き受けて不安な気持ちもありますが、これまでのPTA活動や青少年対活動の経験と障がいのある方と関わる仕事についていることからコミュニケーションの経験を生かして、少しでもお役に立てればと思っています。罪を犯して更生することは簡単ではないと思いますが、誠意を持って対応していく気持ちでおります。先輩方、ご指導よろしくお願い致します。



よしだ 京子
吉田

この度、府中地区の保護司として任命されました吉田と申します。子育て、仕事をしながら保護司の活動となりますので、参加できることが非常に少なく皆様にご迷惑をおかけすることを心苦しく思っております。昨今における保護司の環境、立場、役割をしかと理解し、人は人によって救われる、立ち直れるという思いを胸にお役に立てればと思います。これからどうぞ宜しくお願いいたします。

藍綬褒章を受章して

大沢 美保子



令和6年春の褒章に際して、藍綬褒章受章という栄誉に浴することができ、大変嬉しく、お世話になった皆様に深く感謝申し上げます。

5月14日、夫婦で法務省での伝達式に出席し、ブルーのリボンがついた褒章と章記を頂きました。この後バスに分乗して皇居に向かい、午後から天皇陛下に拝謁となりました。

とにかく初めての経験に緊張が続きましたが、参加者の集合写真を撮って無事終了となりました。天皇陛下より私たちに下賜された和菓子がつとりと甘く、保護司生活二十数年が大変価値のあるものと思えた次第です。



街頭広報活動

地域活動部 古川 耕 央

令和6年7月1日、第74回社会を明るくする運動街頭広報活動が市内公立全中学校や更生保護女性会、協賛団体などの協力のもと、令和元年以来5年ぶりに接触型で開催された。当日は雨模様様の生憎の天候のため、開会及び閉会のセレモニーはメイン会場を当初予定していたフォリス前からフォリス一階イベントスペースへ場所を変更して開催された。

朝倉会長の開会のあいさつの後、高野市長はじめご来賓の皆様からの祝辞に続き活動内容の説明がされ、けやき並木及びベドストリアンデッキでの広報活動へと移った。

中学生を中心とした参加者は雨合羽を羽織って小雨が降るけやき並木やベドストリアンデッキの担当箇所では元気な声掛けに併せてチラシ等を配布し広報活動を行った。コロナ前と違ったのは、中学校の部活動改革の影響が各校それまでは無かったボランティア部の生徒を中心に参加しており、生徒会中心の参加から様変わりしていた。

雨天で街は人出が少ない状況だったが、実質30分程度の街頭での広報活動でほとんどの学校が手持ちの配布物をすべて配り終わり、開会セレモニーでは緊張した表情を見せていた中学生も、達成感からかとても明るい表情でメイン会場へ戻ってきた様子を見て、安堵と共にこちらも嬉しく感じた。



全員がメイン会場へ戻ったところで原田副会長の司会の下、奥田更生保護女性会会長の労いのあいさつで閉会となった。心配した事故や熱中症など体調不良等のトラブルが無かった事は何よりだったと思う。



パネル展示

また今回はル・シーニュ様の協力により一階エレベーター横のスペースへ、社会を明るくする運動のパネル展示をさせて頂きました。

4回 くする運動



推進大会式典

第7 社会を明るく

府中市推進大会

地域活動部
森岡潤家

社会を明るくする運動は、犯罪や非行に陥った人の更生保護、青少年の健全育成についての理解や意識の高揚を図ることを目的に行われる活動であり、全国的な運動で今年は74回目を迎えました。

府中市推進大会は、令和6年7月11日（木）に府中駅前（ル・シーニュ5階バルトホール）で開催されました。朝倉副委員長からの開会の挨拶に続き、府中市長高野律雄委員長からは、内閣総理大臣メッセージの代読がありました。非行や犯罪を無くすだけでなく、罪を犯した人たちの社会復帰には、社会全体のあたたかい支援が必要であることについても触れられておりました。その後、来賓の挨拶・紹介と協賛団体の紹介へと進み、式典は終了しました。



懸垂幕
フォーリス壁面



ポスター掲示

式典後の催しでは、東京都立府中高等学校JAZZ部によるコンサートが開催されました。50年の実績があり、様々な舞台への出演実績があるだけに、聞きごたえのある演奏で、ボーカルは迫力ある歌声でした。ジャズに詳しくない私も、知っている曲『Moanin』が演奏された時は特に聞き入っていました。一生懸命演奏してくれた若い部員さんの姿を見て、一人でも多くの若い人達に、この活動の趣旨が広まればいいなあと感じました。演奏後には参加者の方々から「若返った気がする」と喜びのお言葉も聞かれました。

最後に、JAZZ部の皆様に感謝すると共にご指導・引率頂きました先生方に厚く感謝申し上げます。

更生ペンギンの
サラちゃん更生ペンギンの
ホゴちゃん

日帰り研修会 府中刑務所

研修部 崎山 弘



2024年6月25日、26日と二日間に分けて日帰り研修を府中刑務所で実施いたしました。八代宏幸所長のお話によると、府中刑務所は日本国内最大の刑務所で、収容定員2,668人、研修当日の収容者数1,670人、最高年齢94歳、およそ4人に一人は外国人受刑者でその国籍は約50か国におよび、外国語、宗教、食事など生活面の対応だけでなく、大使館との連絡調整も必須の業務とのことでした。収容者の約7割が精神疾患や身体疾患により医療的配慮が必要で、暴力団関係、薬物事犯関係が多く、入所者の平均入所回数は5回、最多は25回と犯罪傾向の進んだ受刑者が

大多数で、約600人の職員が苦勞しながら矯正教育に尽力されている様子を拝見してきました。



2009年に全面改築された施設は明るく清潔で、受刑者が居住する一人部屋、共同部屋、運動場、浴室を回ってから、工場で受刑者が作業を行っている様子も見学しました。令和3年6月から機能向上作業が中心となった第10工場訓練場では、障がいに対するリハビリ的な作業が実施されていました。質疑応答では新型コロナウイルスの対応に苦慮したが、辛い重症患者の発生を防ぐことはできたと所長より説明を受けました。その後、刑務所作業製品の買入れ物をして解散となりました。



サポートセンター開所式

サポートセンターふちゅう

運営委員 奈良崎 芳恵

令和6年3月まで使用していたサポートセンターの建物は老朽化により7月末で解体工事が終わり更地になりました。愛着もあったセンターに「今までお疲れ様でした。」と感謝の思いと少し寂しい気持ちになりました。

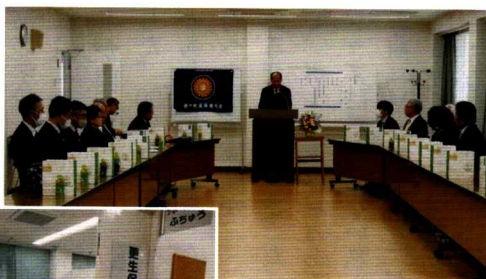
加藤センター長を中心に移転もスムーズに行われ令和6年4月23日にふれあい会館にて開所式が無事行われました。

名前も「更生保護サポートセンターふちゅう」に改名し、新たにスタートを切ることができました。

当日は多くのご来賓の皆様にもご出席賜りお祝いの言葉をいただきました。

保坂元会長からご挨拶の中で、「サポートセンター」が開所にいった経緯を、当時のご苦労やエピソードなどを交えお話しいただきました。ご尽力された関係の皆様方に改めて心から感謝申し上げます。

このサポートセンターは、保護司間の交流や情報交換の場、また更生保護女性会でも有効活用されてお



サポセン開所式



り、大切な欠かせない場所となっていますが、対象者との面接は地域事情等もあり現在も使用することができません。今後も保護司が安心して面接できるように、面接のあり方や場所の確保など、課題の解決・検討が必要だと思います。

新拠点でも地域の皆さまのご理解ご協力をいただきながら、今後も地域に必要とされるサポートセンターを目指し頑張ってまいります。

東京都薬物乱用防止指導員の活動について

秋山 勤

近年の薬物乱用の状況は、検挙人数は依然高止まりにあります。特に若い世代の大麻の乱用は拡大しています。

これは、大麻が安全、身体に害がない等の誤った情報がSNS等により拡散している状況を踏まえて有害性・危険性への啓発が求められています。

そこで、若年層への取り組みとして例年夏休み期間中に市内中学生を対象に薬物乱用の啓発ポスターと標語の募集を行っています。

昨年は、6校から延べ1,226作品の応募がありました。これら、応募作品を指導員全員で選考し入選作品を決定し公共施設で展示しました。

また、啓発活動として11月の府中刑務所の文化祭や3月の市民桜まつりで啓発グッズの配布やPR活動を実施しています。

また、高校生までの世代を対象としたDVDを活用した取り組みも行っており市内の小中学校でも利用

されています。

罪を犯してしまった人の立ち直りを支援することが保護司としての役割にはなりますが、薬物の危険性を若い世代に周知することの重要性を保護司会組織の中で共有していくことが必要であると感じています。

(参考)

東京都薬物乱用防止指導員：定員 503 名

府中地区：5 名（医師会、民生・児童委員、薬剤師会、PTA 連合会、保護司会）

東京都の薬物乱用の状況（検挙人数）

	令和4年	平成22年
覚醒剤	6,124 人	11,993 人
大麻	5,342 人	2,216 人

府中警察だより

生活安全課少年第一係長

中村 研人



都内における令和5

年中の特殊詐欺の少年被疑者検挙人員は減少しているものの、再犯率は59.0%と非常に高い状況にあります。

詐欺の受け子や出し子、強盗の実行犯などをSNSやインターネット掲示板等で、短時間で高収入が得られる等の甘言で募集している「闇バイト」ですが、やめたいと思っても、応募のときに送った身分証明書から「家に行く」「家族に危害を加える」と犯罪組織から脅されて逮捕されるまでやめられません。

地域活動の際に闇バイトの危険性を説いて頂くとともに、処遇活動の際に「抜けられない」「脅されている」と悩んでいる方を把握されましたら、どうぞ警察へつないでください。

警視庁では「#BA 監視庁防犯アプリ」を銘打って広報啓発活動を実施しております。

防犯アプリ「Dig Police」にて動画資料等が閲覧できますので、是非、ご確認ください。



府中地区桐友会の活動

会長 須藤 光忠

東京桐友会の会員は、退任した保護司の内、十年以上の経歴を有し、所属していた地区保護司会の会長から推薦のあった者で、会費を納入した者とする。ただし、十年以上に満たない者であっても特に功労のあったと認められた者は、右に準じた会員とすることができる。会の目的は、東京都保護司会連合会との緊密な連携のもとに、会員の親睦を図るとともに、更生保護の充実発展に寄与することとなっております。

府中地区桐友会は、地区保護司会の年間活動に参加協力し、現役の皆様方の少しでもお手伝いをさせていただければと存じます。特に「社会を明るくする運動」が一般の人に対して、保護司活動の一番のPRになると思います。本会は、苦勞した保護司の役目を終えた仲間の集まりです。定年はありませんので、元気に人生を楽しむ会として活動しています。保護司の皆様、時期が来ましたら是非桐友会に参加していただきたいと思っています。

心よりお待ちしております。

府中地区保護司会コラム①⑨

筒井 孝敏

私のライフワークのお話です。2018年府中市自治会連合会生活安全対策部長の拝命を契機に防災士を取得し、府中市に開局したコミュニティラジオ「FMフューズ」に呼ばれ、毎週土曜日生放送のサタデーランチ「防災とまちづくり」と言う番組のキャスターを始め4年が過ぎました。現在講演依頼もあり講演内容は、災害対策基本法第7条（住民等の責務）「地方公共団体の住民は、食品、飲料水その他の生活必需物資の備蓄その他、自ら災害に備えるための手段を講ずるとともに、防災訓練その他の防災活動への参加、過去の災害の教訓を伝承し防災に寄与するように努めなければならない」この法律に沿って講演をしています。自分と家族が死傷しない為の対策準備をし、市民も同じ準備をすれば、最大の自然災害に対する減災対策となる話をさせて頂いています。



ICTについて

ICT化推進担当 市川 耕作

ICTとは情報通信技術（Information and Communication Technology）の略号である。デジタル庁が設立された以降、更生保護行政においても令和3年度にICT化推進が掲げられた。保護司活動においても保護司専用ホームページ「H@」（はあと）が準備され、資料の閲覧、報告書の作成・提出等が可能となった。東保連においてもコロナ禍を機に保護司会の各種活動が一気にICT化に向け動き出し、各地区の保護司会にICT委員が設けられ研修会が行われた。具体的にはパソコン、スマホ等を使用して情報の共有や、スピードアップを図るもので、コロナ禍ではZoomを利用したりリモート会議が効果を発揮した。府中地区保護司会においてはICT化推進前からパソコンによるメール配信やスマホ（LINEやメール）による情報配信、さらには第七ブロック連絡協議会ではパワーポイントを使用してパソコンによるプレゼンを早期から実施している。今後さらにICTが進むので保護司のみなさんも遅れをとらないようにしたいものです。習うより慣れろである。

活動日誌抄

訃報

奈良 元俊 氏

令和六年二月二十五日逝去

享年七十四歳

心よりご冥福をお祈りいたします

- 4月 府中市制施行70周年記念式典
- 5月 薬物乱用防止推進府中地区協議会総会
- 5月 多摩連常任理事会
- 5月 府中地区更生保護女性会総会
- 5月 会計事務担当者運営連絡協議会
- 5月 東京都更生保護協会評議員会
- 5月 社会福祉協議会理事会
- 5月 紫翠苑評議員会
- 6月 東京保護司代表者協議会
- 6月 東保連理事会
- 6月 府中地区桐友会総会
- 6月 多摩連代表者協議会
- 6月 多摩連理事会
- 6月 東京都薬物乱用防止指導員研修会
- 6月 保護司候補者検討協議会
- 6月 府中市要保護児童対策地域協議会
- 7月 特例研修（発達障がいについて）
- 7月 府中第九中学校道徳授業参観（更女主催）
- 7月 第七ブロック協議会準備会
- 7月 多摩連各部会（総務・地活・研修・広報）
- 7月 多摩連常任理事会
- 7月 福祉のまちづくり推進審議会

編集後記

新型コロナウイルス感染症の類型が5類に移行してから1年以上が過ぎ、あらゆるイベントの開催が、いわゆる「コロナ前」に戻り人の賑わいを取り戻しています。府中でも、5月に行われたくらやみ祭りでの人出も多くかなりの賑わいでした。

府中地区保護司会では、宿泊研修がこの秋に再開すること。私自身は、コロナ禍での保護司就任でしたので、コロナ前に行なわれていた活動が再開し、それに参加することは全て新鮮で全てが勉強になります。

さて、昨今、保護司である方が殺害され、保護観察対象者が容疑者として挙げられた、という事件が起こりました。保護司制度の根幹を揺るがしかねない大変衝撃的な事件でした。我々は、地域で更生を支援するうえで保護司制度は必要なものであるという自覚のもとに、このような事件に屈することなく、引き続き保護司活動を行なっていくとともに、安全確保の対策や制度の見直しに対しても積極的に意見を述べていく必要があると思います。

市橋正造

広報部

部長	奈良崎芳恵	佐藤 政利
副部長	若松 正子	隆 ミワ子
書記	田中 節子	中込八重子
会計	市川 勉	市毛 彰
部員	赤塚 正坦	柊 晶一
	吉野 博文	市橋 正造

題字は高野市長の揮毫によるものです
表紙の写真・提供 府中市